

令和4年度12月期－3 定期監査結果報告書

第1 監査の概要

1 監査の種類

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定による定期監査

2 監査の範囲

監査の対象期間中に執行された、財務に関する事務及びその他の事務

3 監査の着眼点

財務に関する事務及びその他の事務の執行が、関係法令等に準拠し、適正かつ効率的に行われているかを主眼とし監査を実施した。

4 監査の執行者

代表監査委員 関口 広行
監査委員 鴻巣 義則

5 監査の対象

総務部 契約検査課

6 監査の期間

監査対象期間 令和4年4月1日から令和4年11月31日まで
監査実施期間 令和4年12月6日から令和4年12月26日まで

7 本監査の期日

令和4年12月26日

8 監査の方法

(1) 書類監査

書類監査においては、監査対象から提出された定期監査資料、関係書類等に基づき、監査委員事務局職員による予備監査を実施した。

(2) 委員監査

委員監査においては、監査委員事務局作成の予備監査調書と対象の課等の長より提出済み資料等に基づき説明を受け、監査委員による質疑等を行い本監査を実施した。

第2 監査の結果

1 財務事務の執行

<課題点等>

概ね適正に行われていた。

2 その他の事務の執行

文書発送簿について、記入誤りが確認された。

これ以外については、概ね適正に行われていた。

3 意見

その他の事務の執行において一部に課題は見られたものの、それ以外は概ね適正に執行及び事務処理がなされている。

随意契約における業者選定理由書において、現行の様式では適用条項の選択肢において地方自治法施行令第167条の2第1項第1号が含まれていない。また、本様式は特定の者を選定する理由を明記することにも使用しているため、随意契約にする理由と、特定の者を選定する理由が混同されやすい状態となっている。様式の改善を検討されたい。